

来所した JICA 研修生への講義

12月12日に来所した JICA 研修生に対し、我が国でも優良事例となっている京都府のズワイガニ資源管理の取り組みについて講義しました。研修生は東南アジアを中心に11カ国から参加の15名で、観光資源としても大切なズワイガニを持続的に利用するために、漁期などを定めた法律をはじめ、日本海西部全体と京都府沖における漁業者による自主的な規制内容を説明しました。また、全国で初めての取り組みとなったコンクリートブロックをカニ漁場に設置した保護区や、その効果なども紹介しました。

同一漁業への資源管理が法律や自主的な規制により複層的に行われることは、欧米にはない我が国特有のものであるため、研修生からは予定時間を超過し多くの質問が出され、我々とは異なった観点のコメントなどもあり、有意義な時間となりました。



ズワイガニ資源管理に関する講義